

再発・進展型小細胞肺癌に対するタルラタマブ治療の安全性および有効性に関する研究

1. 研究の対象

2025 年 4 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに、大阪国際がんセンターにおいて再発または難治性小細胞肺癌に対してタルラタマブ治療を行った 20 歳以上の患者方を対象とします。

2. 研究の概要

近年、小細胞肺癌に対する治療は免疫療法の導入などにより進歩してきたものの、再発・難治性症例に対する治療選択肢は依然として限られており、予後は不良です。

タルラタマブは、小細胞肺癌に対する新規治療薬として開発され、臨床試験において一定の有効性が示されています。一方で、サイトカイン放出症候群（CRS）をはじめとする特有の有害事象が報告されており、安全な実臨床での導入および管理体制の確立が重要な課題です。

本研究では、当院においてタルラタマブ治療を実施した再発・難治性小細胞肺癌患者さんを対象に、診療録情報をもとに治療内容、安全性、特に CRS の発現状況およびその対応について後ろ向きに評価し、タルラタマブ治療の実臨床における安全性および有効性を明らかにすることを目的とします。

研究期間：研究実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

研究目的

タルラタマブ治療を受けた再発・難治性小細胞肺癌患者さんにおける治療の実施状況、安全性および有効性、特に CRS の発現状況とその対応について評価します。

研究方法：

診療録に記載された患者背景、治療内容、有害事象（CRS を含む）および治療経過の情報をもとに、タルラタマブ治療の安全性および有効性について後ろ向きに解析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、治療歴、小細胞肺癌の診断および病期、タルラタマブ治療内容、有害事象（CRS を含む）の発生状況、治療効果、治療継続状況など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、研究への参加を希望されない場合は、下記連絡先までお申し出ください。

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 研究責任者 國政 啓

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上